



Red Hat Process Automation Manager 7.0

**Using standalone perspectives in Business
Central**

Red Hat Process Automation Manager 7.0 Using standalone perspectives in Business Central

Red Hat Customer Content Services
brms-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2018 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書は、スタンドアロンのカスタムページ (ユーザーのアプリケーションに追加できるカスタムのダッシュボード) を含むスタンドアロンのパースペクティブを Red Hat Process Automation Manager 7.0 で使用する方法を説明します。

目次

前書き	3
第1章 スタンドアロンパースペクティブの使用	4
第2章 スタンドアロンのライブラリーパースペクティブの使用	5
第3章 スタンドアロンのエディターパースペクティブの使用	6
第4章 スタンドアロンのコンテンツマネージャーパースペクティブの使用	7
第5章 カスタムページ (ダッシュページ) の使用	8
付録A バージョン情報	9

前書き

開発者は、アプリケーションで Business Central のスタンドアロンパースペクティブを使用できます。

前提条件

- Business Central がデプロイされ、Web およびアプリケーションサーバーが実行している。
- Business Central にログインしている。

第1章 スタンドアロンパースペクティブの使用

Business Central は、アセットの形式に基づいたオーサリングアセットに特化したエディターを提供します。Business Central には、これらのエディターを個別に使用するための機能があります。この機能は、エディターのスタンドアロンパースペクティブモード、または **スタンドアロンパースペクティブ** と呼ばれています。

開発者は、これを使用して、お使いの Web アプリケーションにスタンドアロンパースペクティブを組み込み、ルール、プロセス、デシジョンテーブルなどを編集できます。パースペクティブを組み込んだら、Business Central に切り替えずに、所有するアプリケーションのアセットを編集できるようになります。この機能を使用して Web アプリケーションをカスタマイズできます。スタンドアロンパースペクティブの他にも、アプリケーションに組み込みのスタンドアロンのカスタムページ (ダッシュボード) を組み込むこともできます。

ブラウザーに、**standalone** パラメーターおよび **perspective** パラメーターが含まれる特別な Web アドレスを使用してスタンドアロンパースペクティブにアクセスできます。スタンドアロンパースペクティブの Web アドレスには追加パラメーターが含まれる場合もあります。

第2章 スタンドアロンのライブラリーパースペクティブの使用

Business Central のライブラリーパースペクティブを使用して、編集するプロジェクトを選択します。選択したプロジェクトでオーサリング機能をすべて実行することもできます。

スタンドアロンのライブラリーパースペクティブでは、**header=UberfireBreadcrumbsContainer** パラメーターを **使用する** 方法と **使用しない** 方法のいずれかを選択できます。**header** パラメーターが追加されているアドレスでは、ライブラリーパースペクティブの他にブレッドキラムを表示する点が異なります。このリンクを使用して、プロジェクトに追加 **スペース** を作成できます。

手順

1. Business Central にログインします。
2. Web ブラウザーで、適切な Web アドレスを入力します。
 - a. **header** パラメーターが **含まれない** スタンドアロンのライブラリーパースペクティブにアクセスする場合
<http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone=true&perspective=LibraryPerspective>

ブラウザーで、ブレッドキラムのないスタンドアロンのライブラリーパースペクティブが開きます。
 - b. **header** パラメーターが **含まれる** スタンドアロンのライブラリーパースペクティブにアクセスする場合
<http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone=true&perspective=LibraryPerspective&header=UberfireBreadcrumbsContainer>

ブラウザーで、ブレッドキラムを持つスタンドアロンのライブラリーパースペクティブが開きます。

第3章 スタンドアロンのエディターパースペクティブの使用

Business Central のスタンドアロンのエディターパースペクティブを使用してアセット固有のエディターにアクセスできます。このパースペクティブを使用してアセットエディターを開き、必要に応じてアセットを変更できます。

アセットのスタンドアロンのエディターパースペクティブにアクセスする Web アドレスには、**standalone** パラメーターおよび **path** パラメーターが含まれます。**path** パラメーターにはアセットへの完全パスが必要で、Web アドレスの末尾は **#StandaloneEditorPerspective** 文字列にできます。また、**path** パラメーターを変更する場合は、スタンドアロンモードで特定のアセットのエディターにアクセスできます。

手順

1. Business Central にログインします。
2. Web ブラウザーで、以下のように、必要に応じて適切な Web アドレスを入力します。
 - a. プロセスを編集する場合:
<http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone&path=default://master@MySpace/Shop/src/main/resources/com/purchase.bpmn#StandaloneEditorPerspective>

スタンドアロンモードで **Process Designer** が開きます。

- b. フォームを編集する場合:
http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone&path=default://master@MySpace/Mortgage_Process/src/main/resources/ApplicationMortgage.frm#StandaloneEditorPerspective

スタンドアロンモードで **Form Modeler** が開きます。

第4章 スタンドアロンのコンテンツマネージャーパースペクティブの使用

アプリケーションで、スタンドアロンのコンテンツマネージャーパースペクティブを使用すると、アプリケーションのコンテンツとそのナビゲーションメニューを作成し、編集できます。

手順

1. Business Central にログインします。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに、以下の Web アドレスを入力します。
[http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?
standalone=true&perspective=ContentManagerPerspective](http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone=true&perspective=ContentManagerPerspective)

ブラウザーで、スタンドアロンのコンテンツマネージャーパースペクティブを開きます。

第5章 カスタムページ (ダッシュページ) の使用

スタンドアロンパースペクティブの他に、アプリケーションに、ダッシュボードとして知られるカスタムページを組み込むこともできます。アプリケーションからカスタムページにアクセスするには、**perspective** パラメーターの値をカスタムページの名前にします。**perspective** パラメーターでは大文字と文字が区別されます。

手順

1. Business Central にログインします。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに、カスタムページの Web アドレスを入力します。以下は例になります。

[http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?
standalone=true&perspective=CustomPageName](http://localhost:8080/business-central/kie-wb.jsp?standalone=true&perspective=CustomPageName)

ブラウザーにスタンドアロンのカスタムページが開きます。**CustomPageName** の値を、スタンドアロンモードで使用するカスタムページの名前に置き換えます。

付録A バージョン情報

Documentation last updated on: Monday, October 1, 2018.